

# KORG

## Pa700

OSバージョン 1.5  
の新機能

# Pa700 オペレーティング・システム・バージョン1.5

## インストール手順と新機能

### 新しいオペレーティング・システムをインストールする

ご購入頂いたPa700は、すでに新しいオペレーティング・システムがインストールされていることがあります。これをチェックするには、**Media > Utility**ページを開き、画面下部に表示されるバージョン番号をご覧ください。

新しいオペレーティング・システムのインストール手順については、コルグ・ウェブサイト ([www.korg.com](http://www.korg.com)) からダウンロードできるインストール・ファイルに添付の説明書「オペレーティング・システムのロードをお読みください。

オペレーティング・システムをロードした後、**Media > Utility > Factory Restore** コマンドを使用してミュージカル・リソースを更新してください。ミュージカル・リソースはオペレーティング・システムと共にロードされますが、更新するためには、このコマンドを使用する必要があります。

### OSバージョン1.5の新機能

以下は、OSバージョン1.5で追加された新機能です。

場所	新機能	ページ
ビデオ	タイプBのVideo Outページに、Sync option/パラメーターを追加しました。	12

## 以前のOSバージョンで追加された機能

以下は、OSバージョン1.4で追加された新機能です。

場所	新機能	ページ
ハードウェア	HDMIビデオ・アウトを備えた、新しいPa700タイプB ができました。	5
オペレーティング・システム	別のオペレーティング・システム・パッケージにしました。	5
MIDI	MIDIプリセットを追加しました。	10
ビデオ	Video Outページを変更しました。	12
ショートカット	レコード・モードからTuningページへ移動するショートカットを追加しました。	18

以下は、OSバージョン1.3で追加された新機能です。

場所	新機能	ページ
アレンジャー	AUTO FILLボタンとVARIATIONボタンとを同時に押してフィルを選択できるようになりました。	7
サンプリング	ユーザー・サンプルの最大数を増やしました。	8

以下は、OSバージョン1.2で追加された新機能です。

場所	新機能	ページ
コントローラー	VOX V860ボリューム・ペダルとの互換性を追加しました。	9
	ボリューム/エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセットを追加しました。	9

以下は、OSバージョン1.1で追加された新機能です。

場所	新機能	ページ
ユーザー・インターフェイス	いくつかのページのデザインを新しくし、名称を変更しました。	6
	選択したソングブックのエントリーがセット・リスト内で点滅するようになりました。	6

場所	新機能	ページ
キーボード・セット	スタイルやソングブック・エントリーのキーボード・セットごとに、スプリット・ポイントをメモリーできるようになりました。	7
スタイル・レコード	録音したスタイルの試聴方法を変更しました。	8
MIDI	受信したMIDIノート・データのノート・オフ・ベロシティの値(固定値)を変更できるようになりました。	11
ビデオ・アウト	ビデオ・モードの設定をグローバルに保存できるようになりました。	13
ファイル管理	ローカル・アドオン(音楽データ)に対応しました。(2017年12月現在、日本は未対応)	14
	すべての選択ウィンドウで、ユーザー/ダイレクト・バンクのリネームが可能になりました。	14
	ダイレクトのSETフォルダーの選択方法を変更しました。	15
	ダイレクトのパッド、ボイス、ギター・プリセットのメモリー領域を拡張しました。	16
	ダイレクトのソングブック・エントリーのメモリー領域を拡張しました。	17

## ハードウェア

### 新しいPa700タイプB

[1.4]

部品の変更により、現在Pa700には2つのバージョンが存在しています。ご購入頂いた製品のタイプは、シリアル・ナンバーで確認することができます。以下の表をご覧ください。

Pa700タイプ	シリアル・ナンバー	VIDEO OUT端子	時計用電池
タイプA	39999以下	RCA (コンポジット)	CR2032
タイプB	40000以上	HDMI	CR1632

Pa700のタイプによっては、使用する時計用電池が異なりますのでご注意ください。**機器を損傷してしまう恐れがあるため、指定された交換部品以外は使用しないでください!**

### 別のオペレーティング・システム・パッケージ

[1.4]

Pa700タイプBの導入により、現在オペレーティング・システムのインストール・パッケージには2つの異なるバージョンが用意されています。**Video Out**ページに記載されている一部の機能を除けば、これら2つのバージョンは機能的には同じです。

新しいオペレーティング・システムに更新した直後、またはリセットを実行して工場出荷時と同じ状態に戻すと、オペレーティング・システムのインストール・パッケージの正しいバージョンを尋ねるメッセージがPa700の画面に表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

## ユーザー・インターフェイス

### レイアウトや名称が変更されたページ

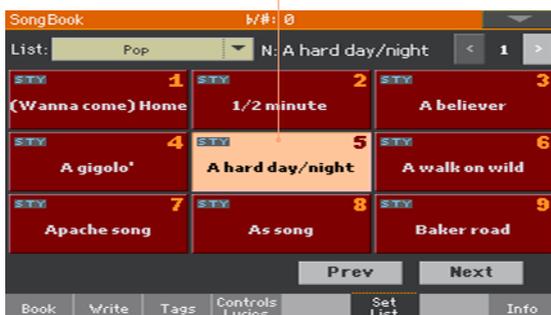
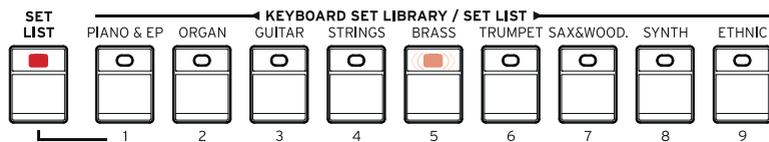
[1.1]

新機能追加に伴い、様々なページでレイアウトや名称が変更されました。

### 選択したソングブック・エントリーの点滅表示

[1.1]

コントロール・パネルのSET LISTセクションで、選択したソングに対応するキーのLEDが点滅します。



## キーボード・セット

### スタイルやソングブック・エントリーの各キーボード・セットでのスプリット・ポイントの保存 [1.1]

キーボード・セットに保存されているスプリット・ポイント(ローカル・スプリット・ポイント)とは別に、スタイルやソングブック・エントリーで使用するキーボード・セット独自のスプリット・ポイントを保存できます。

## アレンジャー

### AUTO FILLボタンとVARIATIONボタンとを同時に押したフィルの選択 [1.3]

フィルは、曲のセクション間をスムーズに移行ために使用するフレーズです。

コード・バリエーション	内容
Fill 1	簡素
Fill 2	やや複雑
Fill 3	複雑
Fill 4	高度で複雑

- フィルに音楽的な変化をつける場合は、**AUTO FILL**ボタンと、選択したいフィルに対応する**VARIATION**ボタンを同時に押します。  
たとえば、Fill 3を選択する場合は、**AUTO FILL**と**VARIATION 3**ボタンを一緒に押します。
- 必要に応じて、フィルを入れる前に、別のバリエーションを選択します。

## スタイル/パッド、ソング・レコーディング

### 録音したスタイル/パッドの試聴方法の変更

[1.1]

#### コードのテスト

スタイル・レコード・モードまたはパッド・レコード・モードでは、鍵盤でコードを弾くと、そのコード情報に基づいて録音したパターンを試聴できます。このときは確認しやすいようにピアノ音色が使用されます。コード認識方法はSPLITキーのLEDの点灯状況によって変化します。

SPLITキーのLED	ロー	アッパー
On (点灯)	ローでコード認識	ピアノ音色
Off (消灯)	鍵盤全域でコード認識、ピアノ音色	
点滅	鍵盤全域でコード認識、音色の割り当て無し	

#### 録音したスタイル/パッドの試聴

- 1 コントロール・パネルのSTART/STOPキーを押して、録音したパターンを再生します。
- 2 鍵盤でコードを弾き、パターンの変化を試聴します。
- 3 START/STOPキーをもう一度押して、再生を停止します。

## サンプリング

### ユーザー・サンプルの最大数の増加

[1.3]

ロードできるユーザー・サンプルの最大数を15048に増やしました。

# コントローラー

## VOX V860ボリューム・ペダルとの互換性の追加

[1.2]

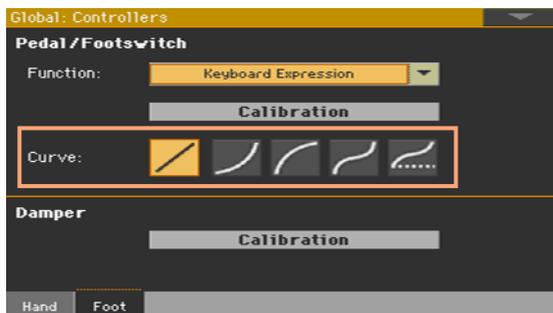
VOX V860ボリューム・ペダル(別売)が使用できます。

## ボリューム/エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセット

[1.2]

**注意:** OS v1.2をインストールしたら、ボリューム/エクスプレッション・ペダルのキャリブレーションをしてから、カーブを選択してください。以前の設定が機能しなくなることがあります。

ボリューム/エクスプレッション・ペダルに割り当てられている機能によっては、カーブを選択してペダルがその機能にどのように影響するかを設定できます。適用されないカーブはグレー表示になります。



### カーブの選択

- 1 エクスプレッション・ペダルを接続し、キャリブレーションを行い機能を選択します。プリセットされたカーブは、一部の機能でのみ選択できます。
- 2 Curve ボタンをタッチして、カーブを選択します。

Curve	意味
	直線的なカーブ(Bカーブ)。
	指数関数的なカーブ(Aカーブ)。ペダルを踏み込むほど大きく変化するカーブです。
	対数関数的なカーブ(Cカーブ)。ペダルの踏み始めに大きく変化します。
	S字型カーブ。ペダルの踏み始めと終わりが大きく変化する、中間ではゆっくり変化します。
	オフセットを持つS字型カーブ。S字型カーブと同じですが、ゼロより高い値から始まります。

# MIDI

## MIDIプリセットの追加

[1.4]

新しいMIDIプリセットがいくつか追加されました。これにより外部機器に接続した楽器を素早くセッティングできます。

さらに、空のMIDIプリセット・ファイルが増えたことで、あなたの好みのセッティングを最大16のMIDIプリセットとして保存できるようになりました。MIDIプリセットはすべてユーザー・データとして保存され、上書きすることができます。

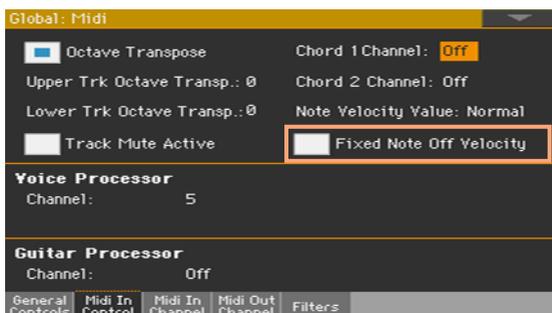
更新された使用可能なMIDIプリセットのリストは以下のとおりです。

MIDIプリセット	用途
Default	汎用設定。ほとんどの場合に対応可能。
Master Kbd	外部マスター・キーボードを接続する場合。
Player 1	本機のプレーヤー 1または2で外部音源（拡張モジュールまたはバーチャル楽器）で演奏させる場合。外部シーケンサーとPa700のシーケンサー・モードでソングを作成する場合。
Player 2	
Accordion 1	MIDIアコーディオンを接続する場合（用途別に3種類のプリセットがあります）。
Accordion 2	
Accordion 3	
Tablet	タブレットを接続し、リモート・コントロールでSongBookエントリーの選択やMIDIメッセージを選択して送信する場合。
Key Control	外部キーボードでUpper 3サウンドを演奏する場合。
Mix Control	外部コントローラーで各サウンドのボリュームとパンをコントロールする場合。
Pad Control	外部パッド・セットからパーカッション・サウンドや特殊なエフェクト（Upper 3で）演奏する場合。内部アレンジャーヘコードを送信するために使用することも可能。
X/Y Control	外部X/YコントローラーでUpper 1の2つのサウンド・パラメーターをコントロールする場合。
Studio Ctrl	さまざまに異なるコントローラーを同時接続する場合。
Breath Ctrl	ブレス・コントローラーで1つまたは複数のUpper 1のサウンド・パラメーターをコントロールする場合。

## MIDIノート・データのノート・オフ・ベロシティ値の設定 [1.1]

受信したMIDIノート・データのノート・オフ・ベロシティを固定値に設定できます。

- 1 **Global > MIDI > MIDI IN Controls**ページを開きます。



- 2 **Fixed Note Off Velocity**チェック・ボックスで、MIDI経由で受信したノート・データのノート・オフ・ベロシティの値を固定値に設定します。このときの値は本機のサウンドが適正になるように低く設定されます。

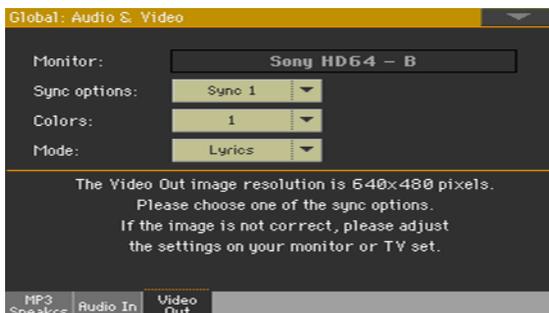
この機能は、非常に高い値でノート・オフ・ベロシティを送信するコントローラーで本機を演奏する場合に便利です。例えば、本機のエレピ・サウンドにはリリース部分にRXノイズが含まれています。そのレベルをノート・オフ・ベロシティでコントロールしているものがあります。受信したノート・オフ・ベロシティの値が高すぎると、RXノイズが不自然に発音してしまいます。

## ビデオ

### Video OutページにSync option/パラメーターを追加 [1.5]

Pa700のタイプBでは、接続したモニターを認識すると、通常Sync optionが自動的に選択されますが、もし選択されない場合でも手動で行うことができます。

- 1 外部モニターを接続したら、**Global > Audio & Video > Video Out**ページに移動します。



- 2 Sync option/パラメーターで、モニターに最適な設定を選択します。

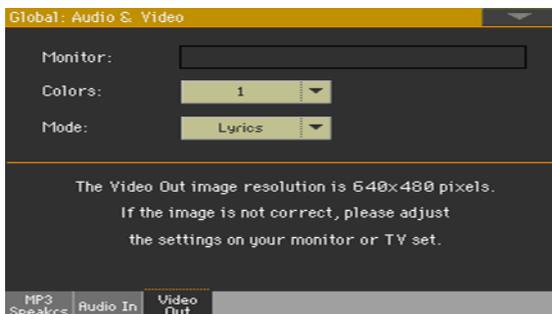
この選択は保存されます。別のモニターを接続するときは、必要に応じて再度この手順を行ってください。

### Video Outページの変更 [1.4]

Pa700とVIDEO OUT端子のタイプによっては、使用するケーブルが異なります。必要なケーブルは、家電量販店でお求めください。

Pa700タイプ	VIDEO OUT端子のタイプ		ページ
タイプA (シリアル・ナンバー 39999以下)	RCA	RCA (コンポジット)	RCA-RCA
		SCART	RCA-SCART
タイプB (シリアル・ナンバー 40000以上)	HDMI	HDMI	HDMI-HDMI
		DVI	HDMI-DVI
		VGA	HDMI-VGA

Pa700のタイプBでは、**Global > Audio & Video > Video Out**ページが変更されました。



モニターを認識すると、その名前が**Monitor**に表示されます。モニターの名前が表示されない場合は、接続を確認してください。

推奨解像度は640x480ピクセルであることにご注意ください。画像が正しく表示されない場合は、モニターの設定（例えば、ズームまたはアスペクト比の調節）を確認してください。

## ビデオ・モードの設定をグローバルに保存

### [1.1]

**Mode**パラメーター（**Global > Audio & Video > Video Out**ページ）で、外部ディスプレイに表示する内容を歌詞とコードのみ出力するか、または本機のディスプレイ表示をそのまま出力するかの選択ができます。

このパラメーターの設定はグローバルに保存され、本機の電源をオンにしたときにリセットされません。

## ファイル管理

### ローカル・アドオン音楽データに対応 (2017年12月現在、日本未対応) [1.1]

本機は、追加サウンドやキーボード・セット、スタイル、パッド、ボイスやギター・プリセット、専用デモ・ソングなどを含むアドオン・パッケージに対応しています。アドオンは通常、コルグのディストリビューターがその地域の特色に合わせたものを制作しています。

アドオン・パッケージの詳細やインストール方法につきましては、各パッケージに付属の説明書をご覧ください。

アドオンなどの追加データは、各**選択ウィンドウ**の**Local**バンクに入ります。



### ユーザー/ダイレクト・バンクのリネームの拡張 [1.1]

すべての選択ウィンドウで、ユーザー・バンク、ダイレクト・バンクの名前を変更して、キーボード・セット、スタイル、パッド、ボイスまたはギター・プリセットの独自のセットを作成することができます。これによって、新たに追加されたパッド、ボイス・プリセット、ギター・プリセットなど、すべてのユーザー・データとダイレクト・データに拡張されました。

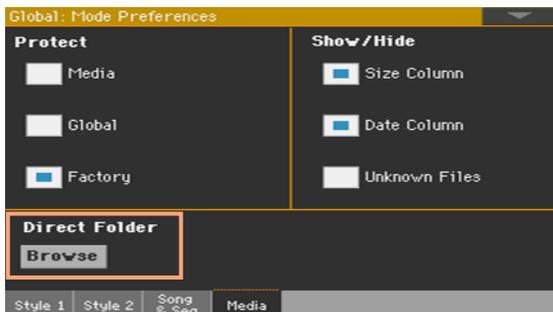
## ダイレクトのSETフォルダーの選択

[1.1]

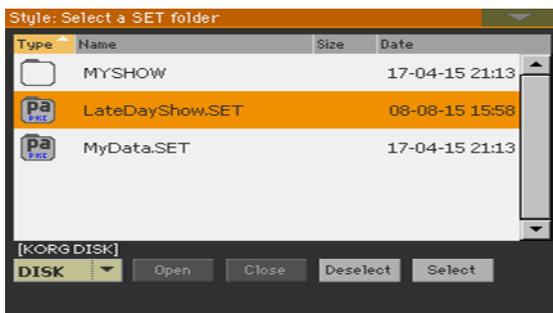
### ダイレクト・フォルダーの選択

ダイレクト・フォルダーのデータを使用する場合は、事前にデータが入っているフォルダーを選択しておく必要があります。

- 1 ダイレクト・データが入っているストレージ・デバイスを本機に接続します。
- 2 **Global > Mode Preference > Media**ページを開きます。

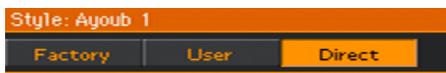


- 3 **Direct Folder**エリアの**Browse**ボタンをタッチして**ファイル選択ウィンドウ**を開きます。
- 4 ドライブやフォルダーの内容を確認し、ダイレクト・セットとして使用する**SET**フォルダーを選びます。



- 5 **Select**ボタンをタッチして選択を確定します。  
ここで選択できるフォルダーは1つのみで、そのフォルダーに本機で使用するすべてのタイプのデータが入っている必要があります。
- 6 本機以外のPaシリーズで作成したフォルダを選択した場合、本機で読み込めるデータ・フォーマットに変換するかどうかを確認されます。変換を選択した場合、新しく作成されるSETフォルダの名前の設定と保存先を指定します(**Cancel**ボタンをタッチした場合は、ダイレクト・フォルダーの選択が解除されます)。

- 7 SETフォルダーの選択が終わったら、**選択ウィンドウ**を開き、リスト上部のタブから**ダイレクト・バンク**が選択できるかを確認します。

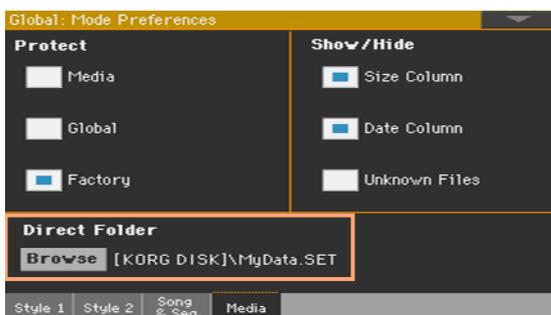


ダイレクト・バンクのソングブック・エントリーとセット・リストは、内蔵ドライブのソングブック・エントリー、セット・リストに自動的に追加されます。

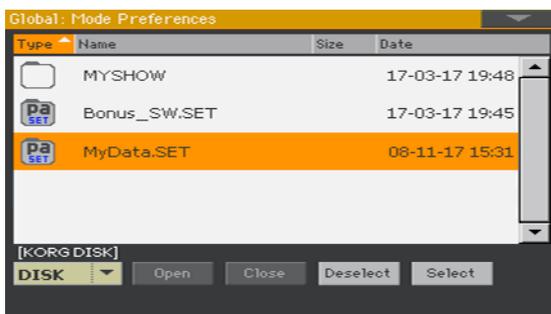
## ダイレクト・フォルダーの選択解除

ダイレクト・フォルダーの選択を解除して、非表示にすることができます。

- 1 **Global > Mode Preferences > Media**ページを開きます。



- 2 **Direct Folder**エリアの**Browse**ボタンをタッチして、**ファイル選択ウィンドウ**を開きます。



- 3 **Deselect**ボタンをタッチして選択を解除します。

## ダイレクトのパッド、ボイス、ギター・プリセットのメモリー領域拡張 [1.1]

ダイレクト・バンクのパッド、ボイス、ギター・プリセットのメモリー領域が拡張されました。これにより、ダイレクト・バンクのキーボード・セットやスタイル、パッド、ボイスやギター・プリセットを選択できるようになりました。

## ダイレクトのソングブック・エントリーのメモリー領域拡張 [1.1]

本機内部のソングブックに加え、ダイレクト・バンクのソングブック・エントリーやセット・リストも内部のデータ・ベースの延長のようにリアルタイムで選択できます。

ダイレクト・バンクのソングブック・エントリーを選択した場合、アイコンの外枠が明るい色で表示されます。

### タイプ 意味

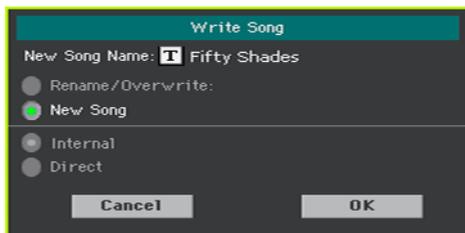
<b>STY</b>	Directのエントリー
------------	--------------

## ダイレクトのソングブック・エントリーを番号で選択した場合

ダイレクト・バンクのソングブック・エントリーを選択した場合、同じ番号のエントリーが内蔵ドライブにもあるときは、**Internal** (内蔵ドライブ) または**Direct**のいずれかを選択します。

## ダイレクトのソングブック・エントリーの作成や保存

ソングブック・エントリーを作成したり保存する場合、保存先を**Internal**または**Direct**のいずれかから選択できます。コントロール・パネルの**SONGBOOK**キーを約1秒長押しするか、ソングブック・ページで**New Song**または**Write**コマンドを選択すると、次の画面が表示されます。



## セット・リスト作成時のダイレクト・バンクのソングブック

ダイレクト・バンクのソングブックが選択されている場合、**SongBook > Set List**ページで**New List**ボタンをタッチし、**Internal**または**Direct**のソングブックを選択できます。

**Internal**のセット・リストは内蔵ドライブのソングブック・エントリーを使用し、**Direct**のセット・リストはダイレクト・バンクのソングブック・エントリーを使用します。このように、セット・リストは常にリストと同じ場所にあるエントリーを参照します。

新しいリストが自動的に選択されます。

## ショートカット

### レコード・モードからTuningページへ移動する新しいショートカット [1.4]

スタイル・レコード・モードまたはソング録音モードに入っている状態で、SHIFTキーを長押ししながらUPPER OCTAVEボタンの1つを押すとMixer/Tuning > Tuningページへ移動することができます。

# 動作向上と不具合の修正

## OS 1.5.0の改善点

全体的なパフォーマンスを改善しました。

## OS 1.5.0の不具合修正

場所	不具合修正
ジュークボックス	ジュークボックス・リストの再生時に、容量の大きいMIDIファイルが正しく再生されない不具合を修正しました。

## OS 1.4.0の改善点

一般的な不具合を修正しました。

## OS 1.3の改善点

一般的な不具合を修正しました。

## OS 1.2の改善点

一般的な不具合を修正しました。

## OS 1.1での不具合修正

場所	不具合修正
サンプリング	タイム・スライス機能実行時にクラッシュする不具合を修正しました。

# KORG

**Address**

KORG ITALY SpA  
Via Cagiata, 85  
60027 Osimo (AN)  
Italy

**Web**

[www.korg.com](http://www.korg.com)